

主な駅から大学までの路線図とおよその所要時間



東京薬科大学 薬用植物園

● Tokyo University of Pharmacy and Life Sciences ●

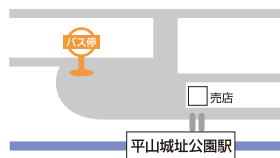
ご案内



バス乗り場のご案内

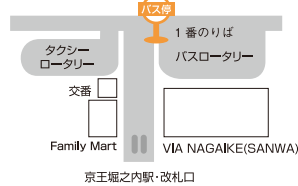
路線バス
または徒歩

平山城址公園駅
京王線「平山城址公園駅」下車、
大学まで約8分、または徒歩20分



路線バス

京王堀之内駅
京王相模原線「京王堀之内駅」下車、
大学まで約8分



※ご来園の際は、公共交通機関をご利用ください。お車のご来園はご遠慮下さい。

東京薬科大学 TEL 042-676-5111(代)
HP アドレス <http://www.toyaku.ac.jp/>
薬学部 / 生命科学部
〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1

東京薬科大学



ヤマユリ
八王子市「市の花」

本 植 物 園 の あ ら ま し

薬用植物は何千年も前から人々の病気の治療に利用されてきました。現在でも医薬品の原料として大量に使われています。また薬用植物から新薬を開発する研究も盛んに行われています。

本植物園は薬用植物に関する教育と研究を目的として設置されましたが、現在では一般の方々への公開も植物園の大切な仕事になっています。

面積は41,000m²あり、東側に開けた谷とこれを囲む丘陵からなっています。谷の部分は整地されて見本園、圃場、管理棟が作られました。見本園と温室、それに丘陵の樹林の中に作られた自然観察路は学生や来訪者のために解放されていて、温帯から熱帯に生育する代表的な薬用植物、有用植物を自由に観察することができます。圃場は主として学生実習用、教員の研究用の植物の栽培、貴重な植物の系統の保存のために使われています。

ここで見られる野生植物は約500種、栽培している植物は約1,500種です。また、大学全体を樹木園にするという考えから、植物園以外のキャンパスの各所にもいろいろな植物が植えられています。



植 物 園 の 沿 革

- 1880年 日本最初の私立薬学教育機関として本学創立
- 1931年 現新宿区柏木の校舎に接して温室付き薬草園を開設
- 1938年 現小金井市に薬草園を開設
- 1976年 本学の八王子移転にともない、キャンパス内に薬用植物園を移設
- 1984年 温室、管理棟完成
- 1993年 自然観察路完成
- 1994年 第1回「薬用植物園の公開講座と見学会」開催、以後毎年2回開催



薬用植物園公開講座

本学では、春(5~6月)と秋(10月)の年2回「薬用植物園公開講座と見学会」を開催しています。スライド等を使った講義の後、講師・学生を交えた薬用植物園見学があります。お申込みは本学ホームページでご確認ください。



薬用植物園公開講座

専門分野の講師が、薬用植物等についての講義を行います。



薬用植物園見学会

本学の講師・学生が、薬用植物について分かりやすく説明します。



薬用植物園公開講座の詳細は http://www.toyaku.ac.jp/Plant/plant_02_j.html

ミニ植物図鑑



【カタクリ/ユリ科】
学名: *Erythronium japonicum* Decne.

日本海を取り巻くように分布する代表的な「春植物」で、温帯林の明るい林床に群生し、樹々が芽吹く頃、大きな2葉をバックに可憐な花を咲かせる。地上部は5月に入ると姿を消す。開花に7~8年を要する。



【コブシ/モクレン科】
学名: *Magnolia kobus* DC.

北海道、本州、九州と韓国の済州島(チェジュ島)に分布する夏緑広葉樹。関東地方では丘陵地、低山に多く、雑木林の春告げ木として知られる。和名、学名の種形容語は集合果を握り拳に見立てたもの。蕾みは薬用。



【タマノカンアオイ/ウマノスズクサ科】
学名: *Asarum tamaense* Makino

登戸付近の植物をもとに記載された常緑多年草。分布は多摩丘陵とその周辺のみ。自生地が開発等により減少、絶滅危惧種として扱われる。花期は4月上・中旬。地味な花が葉群に埋もれるようにつき、キノコバエが訪れて受粉する。



【キクザキイチリンソウ/キンポウゲ科】
学名: *Anemone pseudoaltaica* H.Hara

北海道と本州の夏緑広葉樹林下に分布する「春植物」のひとつ。花期は3月上・中旬。キクザキイチゲ(菊咲き一夏の意)、ルリイチゲソウの名もあるが、八王子市に自生するものは花色の変化に乏しく、白がふつう。



【アイ/タデ科】
学名: *Persicaria tinctoria* (Aiton) Spach

中国南部(広東方面)に自生が知られる一年草。染料として各地で栽培される。盛夏~初秋に紫紅色(まれに白)の花を着ける。藍を染める他の植物と区別して、タデアイとも呼ばれる。



【ボタン/ボタン科】
学名: *Paeonia suffruticosa* Andrews

原産地は中国。同属のシャクヤクとは、地上に木化した茎があることで見分けられる。春の彼岸から約1カ月遅れて開花する。現在では観賞用として知られるボタンですが、根の樹皮部分は「牡丹皮(ぼたんび)」として、漢方薬の原料にもなる。

見学の方へ

本植物園は教育用、研究用の施設です。

研究中の大切な植物も植えてありますので、以下の注意を守って見学してください。

- ✿ 開園している日時を確かめてください。
- ✿ 植物園の入り口で、記名帳に住所・氏名を記入してから見学してください。
- ✿ 見学出来る場所は見本園、展示温室、自然観察路です。(イラストマップを参考にしてください)
- ✿ 植物は観察のみにして、採らないでください。また、順路以外の所に入らないでください。地上部がなくても大切な植物を植えてある場合があります。
- ✿ 園内は禁煙です。また、大学内は所定の場所を除き禁煙です。
- ✿ 園内では、入口手前のベンチ以外で食事をしないでください。
- ✿ ごみは必ず持ち帰ってください。
- ✿ トイレは入口付近にありますが、団体様の場合は図書館棟1Fのものをご利用ください。
- ✿ 園内では、入口手前のベンチ以外で食事をしないでください。
- ✿ 園内での事故・盗難に対して大学は一切責任を負いません。なお、園内での事故防止のために関係者の指示があった場合はそれに従ってください。(小さなお子様連れの場合は、保護者・同伴者の方が責任を持って、事故のないようにしてください。)
- ✿ 10名以上の団体様で見学の場合は、事前に総務課に連絡し、所定の手続きをとってください。

植物園 開園時間

平日 月曜日~土曜日/午前9時30分~午後4時まで (ただし、11月~3月の間、温室は午後3時まで)
日曜・祝日、大学の休暇期間(8月中旬、年末年始、創立記念日11/6)、入学試験日は閉園となります。
また、天候や大学の諸行事等により閉園することもあります。

薬用植物園 イラストマップ



展示温室

図書館棟

管理棟

掲示板

ハーブ

トイレ

入口

圃場

記名帳

シダレザクラ

見本園

自然観察路

マグノリア

ツツジ

トチュウ

ムクロジ

